

## 町長への答申

平成29年2月7日

南幌町長 三好 富士夫 様

南幌町総合計画策定審議会  
会長 佐々木 啓 二

### 第6期南幌町総合計画（案）について（答申）

平成28年2月17日付け南ま企号で諮問のありました第6期南幌町総合計画（案）の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申します。

### 記

#### 第6期南幌町総合計画（案）

<計画期間> 平成29年度～平成38年度

<構成> (1) 基本構想（序章・本編）

(2) 基本計画

# 答 申

南幌町は、昭和45年度に第1期となる総合開発計画を策定して以降、これまで5期にわたり総合計画を策定し、農業を基幹産業として、地域の振興と発展に取り組んできました。

平成22年度に策定した第5期総合計画では、「地域で支えあう行動力と活力のある南幌」を基本理念とし、町民、地域、団体、行政など南幌町に関わる全ての主体が自治を担う協働のまちづくりを進めてきました。

しかし、近年の急激な少子高齢化等の進行に伴う人口減少が加速する一方、東京圏への一極集中や経済のグローバル化等による産業構造への影響などにより、これまでの社会・経済を支えてきた様々な仕組みを見直し、時代に即応した行政経営が求められる中、諮問を受けた第6期総合計画は、このような状況を踏まえて、地方創生を目指し、国と地方が一体となって、人口、経済、地域社会の課題に取り組むために、昨年度に策定した南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しながら、町民や地域の力をまちの元気を支える資源として活用し、南幌から発信する取り組みを創り出すことで、「誰もが笑顔で活躍できるまちづくり」を基本理念として策定したものです。

答申にあたっては、特に留意していただきたい事項として、下記のとおり意見を付しますので、町においては、これを最大限に尊重し、計画が目指す将来像である「緑豊かな田園文化のまち」の実現に取り組まれるよう望むものです。

なお、この計画案は、総合計画策定審議会だけで策定したわけではありません。

各種アンケート、まちづくりワークショップ、まちづくり地域懇談会、役場中堅・若手職員からなるプロジェクトチームなどに参加いただいた多くの方々が第6期総合計画の策定に関わっていただきましたことについて深くお礼を申し上げ、今後も我々を含め、町民、地域、関係団体、企業などと共に南幌町のまちづくりに取り組んでいくことを期待するものです。

## 記

### 1 計画の推進にあたって

基本構想は、これからのまちづくりを進める上での目的と役割を持った方向性を示すものです。

この構想を南幌町に関わる全ての主体の共通の指針として、積極的に広く発信し、誰もが分かりやすく、笑顔で参加・活躍できる取り組みを進めて下さい。

### 2 南幌町の強みを生かした魅力づくりを

札幌近郊に位置しながらも豊かに広がる田園風景と、これまで多くの人たちを温かく受け入れてきた寛容な気質、そして町民や地域が持つ力は、誇るべき“南幌町の強み”であり、この強みをさらに生かすことで、まちの価値を一層高め、

あるいは新たな魅力を創り出し、「南幌町を応援したい」、「南幌町に行ってみたい」、「南幌町に住んでみたい」などと思える方々を増やす取り組みを積極的に進めて下さい。

### **3 重点プログラムの着実な実行を**

基本構想に示した「次代を担う子どもの育成プログラム」、「安全・安心、いきいきと暮らせるプログラム」、「にぎわいを生むプログラム」の3つの柱からなる重点プログラムは、基本政策に基づく、まちづくりを実現するための重点行動目標となるものです。

このプログラムを行政が主体となって、多様な主体を巻き込みながら、着実に実行することで、まちの将来像の実現を目指して下さい。